

# 平成27年度事業報告及び決算

一般社団法人 川崎市観光協会

# 一般社団法人 川崎市観光協会

## 平成 27 年度 事業報告

平成 27 年の年間訪日外国人数が過去最多の 1974 万人を数え、また、国内における旅行消費額も大幅に増加したとの統計が発表されました。

欧州における相次ぐテロ事件の発生、世界金融市場の混乱など政治や経済の先行き不透明感が漂いましたが、2020 オリンピック・パラリンピックの開催国、ユネスコの無形文化遺産に登録された和食への関心、そしてより安全な日本への観光需要が重なったと考えられます。とくに、中国や東南アジアからの観光客は大きく伸び、国内の旅行需要の落ち込みを補う力強さを見せました。今後の観光都市川崎の持続的発展に向けて、海外からの観光客の誘致に対する市内観光関係者の一層の連携強化が課題として浮かび上がった 1 年となりました。

こうしたなか、当協会が一般社団法人として再スタートしてから 5 年目を迎えた平成 27 年度は、伝統ある多摩川花火大会などの開催や、工場夜景を中心とする産業観光など、川崎市行政との連携のもとに、川崎の魅力を内外に発信してきました。

また、市内の地区観光協会主催によるバスツアーやガイド団体が実施する街歩きなどを支援することを通じ、近隣都市からの誘客による観光交流にも力を注いできたところです。

平成 27 年度の事業分野ごとの実施状況は、以下のとおりです。

### I 川崎市と連携して、各種の観光推進事業に取り組む。

#### 1 第 74 回川崎市制記念多摩川花火大会の開催

川崎の夏の風物詩として、通算 74 回目の花火大会を下記のとおり開催しました。

- (1) 主催 川崎市・川崎市観光協会・高津観光協会
- (2) 主管 神奈川新聞社
- (3) 日時 8 月 22 日（土）午後 6 時 30 分からセレモニー、午後 7 時打ち上げ開始
- (4) 会場 高津区多摩川河川敷（第三京浜道路と二子橋間の河川敷）
- (5) 花火総数 約 6,000 発

#### 2 観光案内所等の運営

川崎市内の観光情報や施設情報を提供するため、引き続き市内 3 箇所において案内所等の運営を行いました。

##### (1) 観光案内所

- ・場所 地下街アゼリア・インフォメーション内で 5 月 19 日（火）まで。翌日から、地下街のリニューアル工事に伴い京急観光（株）アゼリア旅行センター内に移動。
- ・運営時間 10 時～17 時

- ・運営体制 1日1名体制（半日交代）
- ・運営日 地下街アゼリア及び京急観光（株）アゼリア旅行センターの営業日と同じ

(2) 観光情報端末機(観光ガイド「かわさき“あいネット”」)

- ・場所 JR川崎駅東西自由通路(川崎観光情報コーナー)
- ・運営時間 8時～21時
- ・運営体制 無人
- ・運営日 年中無休

(3) 多摩麻生観光情報端末機(観光ガイド「かわさき“あいネット”」)

- ・場所 登戸行政サービスコーナー内
- ・運営時間 平日：7時30分～19時  
土曜・日曜：9時～17時  
(登戸行政サービスコーナーの業務時間と同じ)
- ・運営体制 無人
- ・運営日 登戸行政サービスコーナーと同じ

3 第59回川崎市観光写真コンクールの開催

川崎市内の観光資源の再発見や「観光のまち・かわさき」の宣伝素材として活用するため、川崎市から受託し、実施しました。

また、コンクールの広報を兼ねて、平成26年度の受賞作品を東海道かわさき宿交流館等において巡回展示を行いました。

- ・募集期間 27年12月～28年1月
- ・巡回展示 27年5月（地下街アゼリア広報コーナー）、7月（かわさき宿交流館）、11月（かわさき市民祭り観光情報ブース内）

4 国内・海外との観光交流事業の推進

鳥取県米子市、富山県氷見市、神奈川県秦野市等との観光交流を促進しました。

川崎市の姉妹都市・友好都市との国際観光交流については、進捗は得られませんでした。

5 「東海道かわさき宿交流館」の指定管理業務

指定管理者グループの一員として、引き続き交流館館長の派遣のほか、自主事業の企画・開催、「かわさき名産品」認定品の販売管理業務を行い、“観光のまち・川崎”のシンボルとして、印象に残る施設となるよう努めました。

II 市内各地区観光協会と一体となって、観光事業を推進する。

1 地区観光協会との連携

市内10地区の観光協会との連携をもとに、地域の観光資源に係る観光情報の提

供、観光イベントの開催など地域発の観光事業の推進に連携して取り組みました。

(1) 地区観光協会との連携・協力

5年目を迎えた多摩区、麻生区の観光協会が共同して推進する「多摩麻生観光まつり」バスツアーについて、引続き後援し、助成を行いました。

(2) 「丸子の渡し」復活運動への参加

地元の丸子多摩川観光協会や武蔵中原観光協会との協力のもと、11月8日(日)に開催された「丸子の渡しまつり」に、丸子の渡し復活協議会の一員として参加し、「かわさき名産品」の普及・宣伝を兼ねて出店販売を行いました。

あいにくの雨模様でしたが、対岸の大田区の関係団体の参加もあり、渡し舟体験やペーパークラフトなどモノづくり体験、多摩川で獲れた鮎の塩焼きやシジミ汁の販売などほか、大道芸の楽しいパフォーマンスもあり、終日賑わいを見せていました。

(3) 「多摩川渡し場サミット」の開催協力

丸子、二子、宇奈根の各渡し場の歴史と伝統を伝えるイベントの主催団体や、「川崎の母なる多摩川」の環境を守る関係者の集いが、川崎市の主催により、12月6日(日)に東海道かわさき宿交流館において「多摩川渡し場サミット」として開催され、広報活動や当日の運営に協力しました。

(4) 観光関連ガイド団体との連携

川崎市ガイド団体連絡協議会(代表：吉野智佐雄・かわさき歴史ガイド協会理事長)の事務局として、参加団体が行うガイド活動への支援を行いました。

7月30日(木)には、エポック中原において協議会の総会を開催し、加盟7団体から15名の参加を得て、各ガイド団体の活動状況の発表など情報交換や経験交流を行いました。

また、ガイド団体が主体となって実施する街歩きなど「地域独自の観光イベント」についても、後援、助成を行いました。

(5) 市内菊花展、菊花大会に対する支援

毎年、川崎区稲毛公園で開催される「関東川崎菊花展」について主催者として関わったほか、市内において地区観光協会が開催する菊花展や菊花大会についても、広報活動や優秀作品入賞者への盾の交付などの協力を行いました。

## 2 観光事業・イベントなどへの後援、協賛

市内の団体等が主催し、市内で開催する各種の観光イベント等に対して、必要に応じ後援・協賛し、あわせて当協会の公式ホームページ等による広報などを通して、市内で開催される観光関連事業やイベント事業の活性化に取り組みました。

## III 市内観光情報の適切な提供や、関連団体との協力・支援関係の強化を図る。

### 1 観光情報発信機能の拡充

「かわさきの観光情報」ホームページ(日本語)の適切な運用を図るとともに、外

国語（英語・中国語・韓国語）の観光情報の提供に取り組みました。

4年前に全面リニューアルを行った協会ホームページのトップ画面について、画面の更新を行うことによる閲覧アクセス数の向上を図るため、トップ画面等のリニューアルを行いました。あわせて、国内で3人に1人が保有しているといわれるスマートフォンによるインターネット・ホームページの記事検索を容易にするため、スマートフォン対応画面についても改良を行い、観光情報の発信強化に取り組みました。

また、外部の観光情報サイトや観光情報誌からの要請に対応するため、川崎の観光情報や写真・資料の積極的な提供を行いました。

## 2 情報発信に向けた関連団体等との協力・支援

川崎市、川崎商工会議所、民間関連団体の協力のもと、来街者が求める食事、宿泊、買い物、行楽などの情報について、最新の情報提供に努めました。

## 3 伝統的文化への取組み

平成26年に3年ぶりに復活となった「川崎大師薪能」について、5月14日（木）に主催者の一員として、多くの団体の協力も得て開催しました。

また、外国人観光客の誘客や、川崎の都市イメージの向上にも貢献できるよう、日本の伝統文化の継承、発展に係る事業やイベントについて検討し、平成27年度は市内の関連団体が主催する「きもの・で・バスツアー」や「きもの・で・街歩き」のイベントの開催に協力し、支援を行いました。

## 4 観光資源PR作戦の展開

県内関係団体と連携して県外で行われたイベント会場に出展するなど、川崎の観光情報の提供に努め、あわせて「かわさき名産品」の宣伝・即売を行いました。

また、市内滞在型ツアーの誘致を目的に、観光客の増加による地域経済の活性化、雇用の拡大に結び付くよう、旅行事業者に対するモデルツアーの開催について、関係者と検討を進めました。

# IV 観光＝集客という考えに立って、市内関係事業者との連携強化を進める。

## 1 産業観光の推進

川崎産業観光振興協議会（学識経験者、企業、団体、行政で構成）と連携し、市内産業観光の一層の推進に取り組みました。

- （1）産業観光バスツアーとして、臨海部のペットボトル再生工場の見学や工場夜景5周年記念スペシャルツアーなどを実施
- （2）工場夜景屋形船クルーズや工場夜景バスツアー等の定期観光ツアーの実施支援
- （3）産業観光のマーケットの拡大に向けた、産業観光のPR、産業観光シンポジ

ウムの開催

- (4) 産業観光ガイドの養成（基礎講座及び実践トレーニングの実施）
- (5) 修学旅行の誘致、修学旅行用の新たな学習・体験プログラムの作成

## 2 市内大学等との連携

大学生インターンシップ受け入れ事業所として協力するとともに、街中の賑わいを取り戻し、特色ある市内商業の発展も視野に、学生観光プロモーターの育成と実践活動など大学との連携を進めました。

## 3 外国人観光客の誘致

### (1) インターネットや情報誌と連携した広報活動

当協会の海外向け観光ホームページの「Discover Kawasaki」などにより、インターネットを利用した市内観光情報のPRに努めました。

また、訪日客が増加している東南アジアを対象とする観光・旅行誌の「川崎特集」ページの抜き刷りを誘客情報として増刷し、PRに努めました。

### (2) 通訳ガイドによる観光案内

外国人観光客の市内ガイド需要に対応するため、県内の通訳ボランティア団体と連携した「通訳ガイド観光案内」事業により、生田緑地や民家園など人気のある観光スポットを案内しました。

### (3) 観光案内所などの外国語対応

訪日観光客向けのWi-Fi利用環境について、2週間に限って無料で利用できる短期滞在者向けのサービスを、引き続きNTT東日本㈱と協力して進めました。

### (4) 外国人観光客誘致のための研修ツアーの実施など

海外からの観光客、とりわけ東南アジアからの観光客を誘致するため、訪日観光を扱う旅行業者等と市内での観光研修ツアーや商談・交流会の実施について協議を進めました。

### (5) ビジット・ジャパン地方連携事業への参加

関東運輸局が主管するビジット・ジャパン地方連携事業について、千葉県成田市、東京都大田区並びに川崎市が連携して取り組むプロジェクトに参加しました。

連携事業の内容は、タイ及び台湾での旅行博出展にあわせた現地来場者へのアンケート調査の実施、旅行代理店との商談、インターネット及びスマートフォン向けの情報記事（コンテンツ）の作成と発信などが行われました。

## 4 「かわさき名産品」認定品の普及・宣伝

川崎市、川崎商工会議所、関係団体で構成する「かわさき名産品」認定事業実行委員会に参加し、販売促進を図るための普及・宣伝に取り組みました。

東海道かわさき宿交流館が開館して以来行っている「かわさき名産品」の受託販売についても、平成27年4月から新しく認定された「2015-2017認

定」商品への入替え行いました。

また、「丸子の渡し祭り」や県外の観光イベント会場での出店・販売を行うなど、名産品認定商品の知名度を高め、販路の拡大に結びつくよう努めました。

## V 事務事業の再構築と財政基盤を強化する。

### 1 観光課題への取り組み

「観光都市・川崎」の一層の推進を図るため、観光資源の発掘・整備など川崎の観光課題の解決、東京オリンピック・パラリンピックの開催に対応する観光インフラの整備などについて、市議会各会派に対し、川崎市の予算に反映されるよう要望活動を行いました。

### 2 財務基盤の強化

事業協賛金収入、広告料収入、産業観光等の企画監修料収入などの増収を図り、自主財源の拡充に努めましたが、広告料収入及び会員会費が微増したほかは、前年度に比べ減収となりました。

### 3 会員の加入促進

観光関係研修会の開催、バナー広告の会員割引の会員サービスなど、法人会員、個人会員の増強に努めました。

なお、会費の改定や協賛会員制度を設けることなどの現行会員制度の見直しについては、次年度の検討課題として残りました。

### 4 大都市観光協会連絡協議会への参加

東京都及び政令指定都市の観光協会で構成する「大都市観光協会連絡協議会」に引き続き参加し、東京都の当番幹事による総会や事務主幹者会議に出席し、観光に関する他都市協会の対応、組織運営に関する課題などについて情報交換等を行いました。

一般社団法人 川崎市観光協会  
平成 27 年度決算報告

- 1 正味財産増減計算書
- 2 貸借対照表（平成 28 年 3 月 31 日現在）
- 3 財産目録（平成 28 年 3 月 31 日現在）
- 4 財務諸表に対する注記



## 正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

科 目	(単位:円)		
	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	989,000	954,000	35,000
受取会費計	989,000	954,000	35,000
事業収益			
観光写真コンクール受託収益	750,000	795,000	▲45,000
情報端末機運営受託収益	1,608,000	1,350,000	258,000
外国語観光情報発信・案内受託収益	1,521,000	2,573,040	▲1,052,040
観光パンフレット等作成受託収益	5,490,000	5,109,000	381,000
広告料収益	368,680	247,640	121,040
観光案内所運営受託収益	3,153,000	3,318,000	▲165,000
産業観光企画監修等収益	6,985,820	8,388,550	▲1,402,730
緊急雇用(観光)受託収益	0	965,141	▲965,141
事業収益計	19,876,500	22,746,371	▲2,869,871
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	19,222,000	19,222,000	0
受取補助金等計	19,222,000	19,222,000	0
受取負担金			
受取負担金	83,882,966	84,274,720	▲391,754
受取負担金計	83,882,966	84,274,720	▲391,754
受取寄付金			
受取寄付金	13,851,337	15,317,393	▲1,466,056
受取寄付金計	13,851,337	15,317,393	▲1,466,056
雑収益			
受取利息	6,254	6,336	▲82
雑収益	552,869	642,253	▲89,384
雑収益計	559,123	648,589	▲89,466
経常収益計	138,380,926	143,163,073	▲4,782,147
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	6,094,210	7,416,059	▲1,321,849
臨時雇賃金	429,666	435,808	▲6,142
福利厚生費	0	128,053	▲128,053
旅費交通費	342,302	306,488	35,814
通信運搬費	498,969	549,981	▲51,012
消耗品費	107,410	59,025	48,385
印刷製本費	312,012	289,548	22,464
光熱水料費	58,137	62,108	▲3,971
賃借料	1,675,188	2,654,128	▲978,940
交際費	61,543	10,881	50,662
会議費	15,000	15,000	0
保険料	8,600	12,100	▲3,500
諸謝金	197,014	171,000	26,014
租税公課	100,000	92,200	7,800
支払手数料	93,062	51,320	41,742
支払負担金	1,141,819	1,520,606	▲378,787
支払助成金	1,562,765	1,546,566	16,199
支払寄附金	322,000	290,000	32,000
委託費	106,254,947	104,296,904	1,958,043
雑費	590,357	1,011,919	▲421,562
事業費計	119,865,001	120,919,694	▲1,054,693

管理費			
役員報酬	6,442,000	6,420,000	22,000
給与手当	3,890,565	3,940,965	▲50,400
臨時雇賃金	928,880	963,184	▲34,304
福利厚生費	722,757	755,129	▲32,372
旅費交通費	636,279	597,886	38,393
通信運搬費	566,208	850,845	▲284,637
消耗什器備品費	67,176	0	67,176
消耗品費	339,099	299,504	39,595
修繕費	41,040	0	41,040
印刷製本費	261,036	304,992	▲43,956
光熱水料費	57,151	60,048	▲2,897
賃借料	2,142,557	2,211,388	▲68,831
交際費	805,724	860,668	▲54,944
会議費	449,482	379,710	69,772
租税公課	416,966	212,380	204,586
図書費	44,468	44,468	0
支払会費(管)	228,000	228,000	0
支払手数料	123,727	52,140	71,587
委託費	529,200	548,141	▲18,941
雑費	258,961	538,421	▲279,460
管理費計	18,951,276	19,267,869	▲316,593
経常費用計	138,816,277	140,187,563	▲1,371,286
評価損益等調整前当期経常増減額	▲435,351	2,975,510	▲3,410,861
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	▲435,351	2,975,510	▲3,410,861
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲435,351	2,975,510	▲3,410,861
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	▲505,351	2,905,510	▲3,410,861
一般正味財産期首残高	12,121,351	9,215,841	2,905,510
一般正味財産期末残高	11,616,000	12,121,351	▲505,351
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	11,616,000	12,121,351	▲505,351

## 貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:円)			
科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	53,486	53,280	206
普通預金	14,651,523	17,652,150	▲3,000,627
現金預金合計	14,705,009	17,705,430	▲3,000,421
(2) その他流動資産			
未収金	2,380,966	678,607	1,702,359
前払金	90,550	30,000	60,550
仮払金	0	47,122	▲47,122
立替金	425,679	584,863	▲159,184
その他流動資産合計	2,897,195	1,340,592	1,556,603
流動資産合計	17,602,204	19,046,022	▲1,443,818
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
花火大会積立資産	2,200,000	0	2,200,000
特定資産合計	2,200,000	0	2,200,000
固定資産合計	2,200,000	0	2,200,000
資産合計	19,802,204	19,046,022	756,182
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	207,815	212,237	▲4,422
前受金	63,000	122,960	▲59,960
未払金	7,915,389	6,589,474	1,325,915
流動負債合計	8,186,204	6,924,671	1,261,533
負債合計	8,186,204	6,924,671	1,261,533
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	11,616,000	12,121,351	▲505,351
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(2,200,000)	(0)	(2,200,000)
正味財産合計	11,616,000	12,121,351	▲505,351
負債及び正味財産合計	19,802,204	19,046,022	756,182

## 財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金	現金			53,486
	小口現金	手元保管	運転資金	53,486
	普通預金			14,651,523
		横浜銀行川崎支店(1)	運転資金	2,734,581
		横浜銀行川崎支店(2)	運転資金	967,353
		川崎信用金庫本店	花火協賛・会員会費他の受入れ口及び運転資金	10,949,589
	現金預金合計			14,705,009
その他流動資産	未収金		観光写真コンクール実施業務受託収入、産業観光企画監修料、東海道かわさき宿交流館物販品販売料他	2,380,966
	前払金		地区観光協会助成金、観光案内所賃借料等	90,550
	立替金		東海道かわさき宿交流館グッズ作成費	425,679
	その他流動資産合計			2,897,195
流動資産合計				17,602,204
(固定資産)				
特定資産	花火大会積立資産	川崎信用金庫本店	花火大会事故対応等積立資産	2,200,000
	特定資産合計			2,200,000
固定資産合計				2,200,000
資産合計				19,802,204
(流動負債)				
	預り金			207,815
	社会保険料		社会保険料個人負担分	120,979
	所得税		給料控除所得税他	63,636
	住民税		3月分住民税	23,200
	前受金		28年度ホームページバナー広告掲載料	63,000
	未払金		川崎市観光ガイドブック作成費他	7,915,389
	流動負債合計			8,186,204
(固定負債)				
	固定負債合計			0
負債合計				8,186,204
正味財産				11,616,000

## 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当ありません

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

平成27年度においては、有価証券は保有しておりません。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

平成27年度においては、棚卸資産は保有しておりません。

(3) 固定資産の減価償却の方法

平成27年度においては、減価償却すべき固定資産は保有しておりません。

(4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

当法人は、キャッシュ・フロー計算書を作成する法人に該当しておりません。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっております。

(6) リース取引の処理方法

当法人のリース取引は、ファイナンスリース取引としており、かつ所有権移転外ファイナンスリース取引となっております。

この会計処理については、いずれのリース取引によるリース資産が300万円以下のため、通常の賃貸借取引処理としております。

3. 会計方針の変更

会計方針の変更はありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりとなっております。 (単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
花火事故対応等積立資産	0	2,200,000	0	2,200,000
小 計	0	2,200,000	0	2,200,000
合 計	0	2,200,000	0	2,200,000

(注)花火事故対応等積立資産は平成27年12月1日(満期6月0.025%の定期預金)として積立て

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源などの内訳は、次のとおりとなっております。 (単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
花火事故対応等積立資産	2,200,000	0	2,200,000	0
小 計	2,200,000	0	2,200,000	0
合 計	2,200,000	0	2,200,000	0

6. 担保に供している資産

該当する資産は、ありません。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりとなっております。(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
無し			0
合 計	0	0	0

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりとなっております。

(単位:円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
未 収 金	2,380,966	0	2,380,966
合 計	2,380,966	0	2,380,966

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合は除く。)などの偶発債務

該当する保証債務は、ありません。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりとなっております。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
無し			
合 計	0	0	0

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりとなっております。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 地方公共団体補助金	川崎市	0	19,222,000	19,222,000	0	一般正味財産
助成金 民間助成金	民間企業・団 体・個人	0	13,851,337	13,851,337	0	一般正味財産
負担金 地方公共団体負担金	川崎市	0	80,921,000	80,921,000	0	一般正味財産
民間団体負担金	産業観光振 興協議会他	0	2,961,966	2,961,966	0	一般正味財産
合 計		0	116,956,303	116,956,303	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減及びその残高は、次のとおりとなっております。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金 無し				
基金計	0	0	0	0
代替基金 無し				
代替基金計	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりとなっております。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	0
経常外収益への振替額	
目的達成による指定解除額	0
合 計	0

14. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容については、当法人には該当する取引はありません。

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

当法人は、キャッシュ・フロー計算書を作成する法人に該当していません。

16. 重要な後発事象

該当する重要な後発事象は、ありません。

17. その他

平成27年度においては、注記すべきその他の事項はありません。